

No.	020	—	2003	事務事業名	消防協力団体の指導育成に関する事務										公的関与	3
-----	-----	---	------	-------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	消防署		係 名	消防係		電話番号	089-964-5210		メールアドレス	syobo@city.toon.lg.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	5 消防体制と防災・減災対策の充実			主要施策	1 総合的な防災・減災対策の充実				
	事業の目的	市民の防災意識の高揚と防災力強化を図り、有事の際に活動できる人材を育成するため。						根拠法令等	消防組織法						
	事業の手段	消防協力団体との防災訓練並びに幼年期からの防災教育を実施して地域防災力の強化に繋がります。						掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標		
		幼年・少年消防クラブ出前授業（花火指導・出前授業等）		実施回数				回	目標	20	18	18	18		
		幼年消防クラブ防災リーダー研修（防災マップ作り・出初式訓練等）		実施回数				回	目標	3	4	4	4		
									実績	4	5				
		女性防火クラブ防災研修		実施回数				回	目標	3	3	3	3		
							実績	3	3						
D O	活動内容	①	幼年消防クラブ員（幼稚園等）花火指導、防火図画、出前授業					④	防火委員会事務局運営（総会、補助金申請、実績報告、予算計上事務）						
		②	少年消防クラブ員（小学生）防火ポスター依頼、出前授業、防災リーダー研修、出初式訓練の実施					⑤	消防団員の訓練指導（個別勉強会、ポンプ操法、規律訓練、資機材取扱訓練）						
		③	女性防火クラブ員（防災研修、女性防火クラブ加入促進活動）												
	予算費目	会計	一般会計				費目名	消防				費			
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考						
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	350 千円		350 千円		350 千円								
		計（A）	350 千円		350 千円		350 千円								
人件費（B）	正職員工数・経費	1.780 人	11,278 千円	2.149 人	13,835 千円	2.149 人	13,835 千円								
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費（A+B）		11,628 千円		14,185 千円		14,185 千円									
C H E C K - A C T I O N	一次評価者	消防係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）													
	必要性	市民へ火災予防の啓発や防災減災のため、今後も継続する必要があります。													
	有効性	防火防災教育は、対象年齢を考慮し、防災に興味を持てるように実施することで、市民の防火防災意識の向上に繋がります。なお、危機管理課の防災業務に類似点があります。													
	達成度	各団体とも防火防災教育が年間行事として定着しており、知識のレベルアップが図られています。また、女性防火クラブが愛媛県の火災予防運動功労団体表彰を受賞しました。													
	効率性	防火防災教育の機会を増やすことで市民の防火防災知識の向上に繋がっています。													
	当面の課題	少年消防クラブ防災リーダー研修など幼年期の防火防災教育を継続して実施していますが、保護者も含めて興味を持って聞いてもらえるように係員一人ひとりが防火防災知識のレベルアップを図ることが必要です。													
	改 革 画	各クラブ員の増員を図るとともに、有事の際に活動できる人材の育成を行うため、防火防災教育をより充実させて、更なる普及・啓発に努めます。													
	二次評価者	消防署長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項		子どもの火遊びによる火災がゼロ件を継続しており、幼年、少年消防クラブ員対象の防火防災出前授業の効果があると判断できます。また、南海トラフ巨大地震や多種多様な災害に備えるため、啓発を図りながら指導方法を工夫して、実施してください。												